

齊藤 雅茂（日本福祉大学）

採択された科研費テーマ「高齢者の社会的孤立の健康影響の国際比較研究」

採択期間 2018年10月～2021年3月

渡航先（国・機関） イギリス・University College of London

<報告要旨>

本研究では、孤立死・孤独死の問題への関心が高まっている日本社会と、古典的な研究から孤立担当大臣の新設まで孤立対策が進展している英国社会との二国間比較を行った。研究には、両国の高齢者を対象にした大規模疫学調査として、日本側は日本老年学的評価研究(Japan Gerontological Evaluation Study: JAGES)、英国側は英国縦断的高齢化調査(English Longitudinal Study of Ageing: ELSA)による個票データを用いた。研究の結果、世界で最も高齢化が進行し、かつ、孤立しがちな人が多い日本社会でこそ、基礎的な研究の蓄積や国民への啓発を含めて、社会的孤立対策を推進させる必要があることを示唆する結果が得られ、その後に設置された内閣官房孤立・孤独対策室でも共有された。この十数年の間で、各種統計情報へのアクセスしやすさや国際誌への投稿しやすさが劇的に変容し、社会福祉学分野でも国際共同研究を行う基盤は急速に整いつつある。他方で、国際比較研究の推進に際しては、安易な国家間比較は得策とはいえず、なぜ他国と比較するのか（当該国の何を比べるのか）、他国との比較で何を記述・考察しようとするのか、国家間での差は何を意味するのか、比較可能なデータにアクセスは可能なのか、など研究上の戦略を整理しておく必要がある。また、海外との共同研究の成果はどこに発信すべきかという点も今後検討を要する課題と思われる。